

コピーのしかた

■ コピー/リストアのしかた

HDD(メイン)、HDD(サブ)の記録内容をコピー機器やコンパクトフラッシュカードへコピーしたり、バックアップ機器、コピー機器やコンパクトフラッシュカードの記録内容をHDD(メイン)へリストアしたりすることができます。

設定項目

- 「HDD(メイン)→CFC」 : HDD(メイン)の記録データをコンパクトフラッシュカードにコピーします。
- 「HDD(サブ)→CFC」 : HDD(サブ)の記録データをコンパクトフラッシュカードにコピーします。
- 「HDD(メイン)→コピー」 : HDD(メイン)の記録データをコピー機器にコピーします。
- 「HDD(サブ)→コピー」 : HDD(サブ)の記録データをコピー機器にコピーします。
- 「BAK→HDD(メイン)」 : バックアップ機器の記録データをHDD(メイン)へリストアします。
- 「コピー→HDD(メイン)」 : コピー機器の記録データをHDD(メイン)へリストアします。
- 「CFC→HDD(メイン)」 : コンパクトフラッシュカードの記録データをHDD(メイン)へリストアします。

- ❗ 「HDD(メイン)→コピー」、「BAK→HDD(メイン)」、および「コピー→HDD(メイン)」は、＜運用変更・初期設定＞画面の「ID4・ID5運用選択」を「バックアップ・コピー」に設定した場合に表示されます。
- ❗ 「HDD(サブ)→CFC」は、＜運用変更・初期設定＞画面の「HDD記録運用」を「アラームパーティション」に設定した場合に表示されます。
- ❗ 「HDD(サブ)→コピー」は、＜運用変更・初期設定＞画面の「ID4・ID5運用選択」を「バックアップ・コピー」に、「HDD記録運用」を「アラームパーティション」に設定した場合に表示されます。
- ❗ コンパクトフラッシュカードをご使用になる前に、コンパクトフラッシュカードの取扱説明書で使用上の注意などを確認してください。

1-1 (コンパクトフラッシュカードにコピーする場合は・・・) コンパクトフラッシュカードを、本機のコンパクトフラッシュスロットに差し込む。

1-2 コピーボタンを押す。 ・ <コピー>画面が表示されます。

1-3 「転送動作」に、「HDD(メイン)→CFC」または「HDD(サブ)→CFC」を表示させ確定する。

2-1 (コピー機器にコピーする場合は・・・) コピー機器を、本機に接続する。

- ❗ コピーを行う前に、ID5に正しくコピー機器が接続および設定されているか確認してください。

2-2 コピーボタンを押す。 ・ <コピー>画面が表示されます。

2-3 「転送動作」に、「HDD(メイン)→コピー」または「HDD(サブ)→コピー」を表示させ確定する。

3-1 (バックアップ機器・コピー機器・コンパクトフラッシュカードからリストアする場合は・・・) コピーボタンを押す。 ・ <コピー>画面が表示されます。

<コピー>		HDD (メイン) →CFC	
転送動作		上書き	
モード		開始・終了	
範囲指定		開始	
開始		2004-01-01	00:00:00
終了		2004-02-01	00:30:00
実行			

<コピー>		HDD (メイン) →コピー	
転送動作		上書き	
モード		開始・終了	
範囲指定		開始	
開始		2004-01-01	00:00:00
終了		2004-02-01	00:30:00
実行			

<リストア>		BAK→HDD (メイン)	
転送動作		上書き	
モード		開始・終了	
範囲指定		開始	
開始		2004-01-01	00:00:00
終了		2004-02-01	00:30:00
実行			

3-2 「転送動作」に、希望する設定（「BAK→HDD(メイン)」、「コピー→HDD(メイン)」または「CFC→HDD(メイン)」）を表示させ確定する。

- ④ 「BAK→HDD(メイン)」、「コピー→HDD(メイン)」または「CFC→HDD(メイン)」設定を選択した場合、メニューが<リストア>に変わります。

4 ジョグを回して「モード」を選択し、希望する設定項目を表示させ確定する。

- ・ 設定項目（初期設定は「上書き」）
「上書き」：記録内容を上書きします。
「追記」：記録内容を追記します。

- ① 転送動作、モード：「上書き」を設定し実行した場合、コンパクトフラッシュカードの記録データ、メニューデータの区別無く、全記録データに対し、上書きします。ご注意ください。

5 ジョグを回して「範囲指定」を選択し、希望する設定項目を表示させ確定する。

- ・ 設定項目（初期設定は「開始・終了」）
「開始・終了」：記録開始・終了日時を設定します。
「開始」：記録開始日時のみを設定します。
「最新データ」：コピーをするデバイスの記録が可能な容量に応じて、記録の終了点までコピーする。

6 ジョグを回して「開始」を選択し、希望するコピー(リストア)開始日時・時刻を表示させ確定する。

7 (ステップ5で「開始・終了」を設定した場合のみ・・・)
ジョグを回して「終了」を選択し、希望するコピー(リストア)終了日時・時刻を表示させ確定する。

8 ジョグを回して「実行」を選択し、シャトルを右に回す。

- ・ コピー(リストア)が実行されます。
- ・ コピー(リストア)を実行しない場合は、シャトルを左に回すか、コピーボタンを押してください。

- ① コンパクトフラッシュカード、DDSメディア、またはRDDメディアが挿入されていない状態で、コピーまたはリストアを実行すると、「コピー/メディア無し」または「リストア/メディア無し」警告が表示されます(☞ 154ページ)。

- ① コピー範囲がコンパクトフラッシュカードの空き容量を上回る場合は、コピー実行時に画面に「コピー/サイズエラー」警告が表示されます(☞ 154ページ)。そのときは、コピー範囲を狭めてもう一度設定するか、空き容量の大きいカード、DDSメディア、またはRDDメディアを入れてください。

- ① コピー範囲にデータの無い日が含まれていると、画面に「コピー/サイズエラー」警告が表示されますので、ご注意ください(☞ 154ページ)。

- ① コンパクトフラッシュカード、DDSメディア、またはRDDメディアにリストアするデータが存在しない場合は、リストアを実行時に「リストア/サイズエラー」が表示されます(☞ 154ページ)。

- ① 当社独自フォーマット(FSM2)のコンパクトフラッシュカードまたはCD-R/RWメディアと異なるフォーマットのメディアからのリストア実行時には、「リストア/メディアエラー」が表示されます(☞ 154ページ)。

- ① 使用可能なコンパクトフラッシュカードについては、販売店にご確認ください。

- ① コピー範囲が正しく設定されていなくても、システム上データをコピーする場合があります。

コピーのしかた(つづき)

- ➡ コンパクトフラッシュカードへのコピー可能な記録時間については、➡
151ページ。
- ➡ 映像は、1MB単位で管理されています。そのため、コピーをする場合、指定
範囲を含む1MB単位でコピーされるので、設定された範囲より広くなる場合
があります。

■ レコーダーからビデオテープにコピーする

本機が記録中でも、コピーすることができます。アナログビデオ記録装置の録画の操作については、アナログビデオ記録装置の取扱説明書をごらんください。

- 1 [アナログビデオ記録装置] 録画の準備をする。
 - ・ 必ず、入力切換を本機を接続している外部入力にしてください。
- 2 [本機] 分割／シーケンスボタンを押して、再生する画面の種類を選ぶ。(➡ 43ページ)
 - ・ 1画、4分割(a～d)、9分割表示(a、b)、16分割表示が選べます。
- 3 [本機] サーチ機能を使って、コピーしたい場面を頭出しする。
(➡ 99ページ「開始点サーチ/終了点サーチ」)
- 4 [アナログビデオ記録装置] 録画を始める。
- 5 [本機] 再生ボタンを押して、再生を始める。
- 6 コピーをやめる場合は、[本機]の再生停止ボタンを押して再生を停止させたあと、[アナログビデオ記録装置]の録画を停止する。
 - ❗ ビデオテープには、画面に表示されているカメラ番号の映像のみが、コピーされます。

